

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12 27	○就業環境の整備、個別の記録と実践への反映 ・職員の疲労感の軽減、また向上心を持てる職場環境や条件に繋げるため、生産性向上、業務効率化への意識、整備に力を入れる必要がある ・ケース記録について、手書きでしているが、記入の時間がとれず、負担に感じている部分がある。 また、情報として手書きの記録は書き留めやすいが、情報の整理、共有化に繋がっていない部分がある	①生産性向上、業務効率化につながる取り組みを増やし、職員が健康で、向上心を持って働ける環境作りに努める ②ケース記録の負担の解消を図りながらも、情報の整理、共有が円滑にできる仕組みを検討し実践する	①生産性向上推進委員会を3ヶ月に1度開催し、課題の把握と改善の検討を定期的に行う。必要に応じて、新しい見守り機器の導入等も検討する ②見やすく、情報共有のしやすい記録方法について、生産性向上推進委員会で定期的に意見交換を行う。また、先行して記録のICT化を実践する同敷地内事業所とも連携し、実情にマッチする記録方法を検討していく	12ヶ月
2	20(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 ・馴染みの人や馴染みの場所との関係性について、感染症流行(コロナ禍)の経験の名残りや、入居者様が重度化している時期もあり、訪問していただくことはあっても、事業所側からは会いに行く機会や出掛ける機会があまり持てていない	①感染予防は意識しながらも、馴染みの人に会いに行く機会や場所に出掛ける機会を少しずつ設けていく ②重度化傾向になっても、馴染みの人、場所の関係性が継続できるように、理想は日常的に…ではあるが、まずは繋がりを継続するための支援を模索する	①②に対して… ・入居者様の馴染みの人、場所の把握、情報収集を意識して行う ・マンツーマンや少ない人数からの実践、取り組み ・関係者との連絡を取り持ったり、必要に応じて、計画や勤務の調整等を行う ・外出時の感染予防対策の実践と継続	12ヶ月
3					
4					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。